

漁海況月報

平成 16 年 3 月 1 日

No. 3

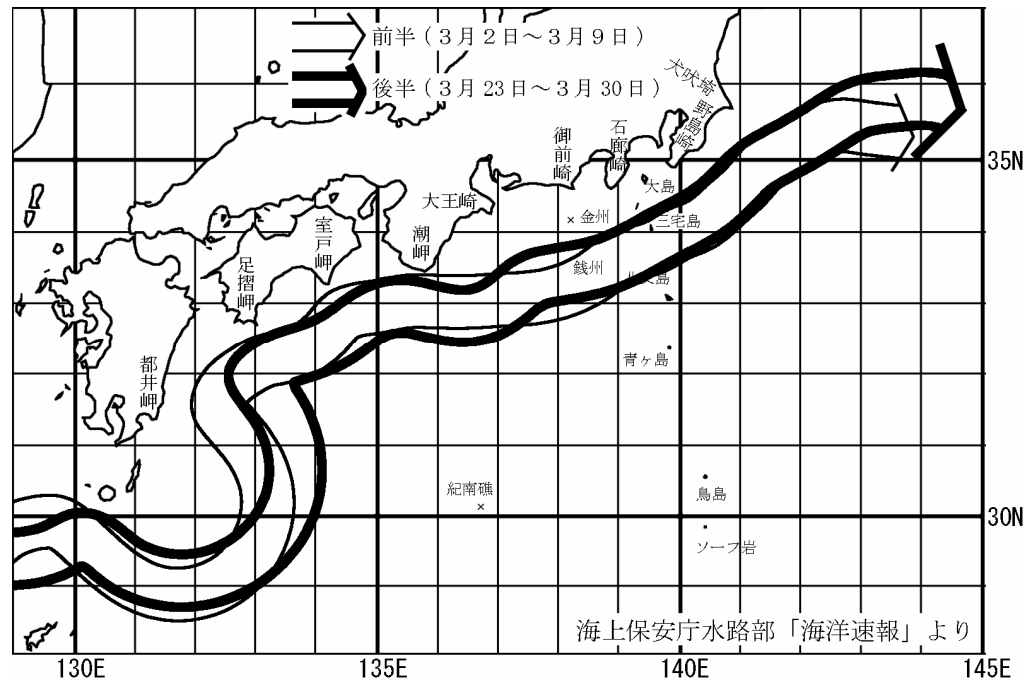
～3月31日

静岡県水産試験場

(電話 054-627-4815)

静岡県水産試験場伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



【黒潮流路】

黒潮は、先月に引き続きN型で、遠州灘沖 33°10' ~ 33°40' N を東進、御蔵島～三宅島を通り房総沖を北東に流去していた。

上旬に遠州灘沖には新たな冷水渦があらわれ、ゆっくりと東へ移動した。3月末現在、冷水渦は駿河湾沖から遠州灘沖に停滞している。駿河湾への暖水波及は、3月5日、18日頃に見られた。

【県下沿岸域】

定地水温は、相模湾側では12～16℃、駿河湾東部では12～17℃、駿河湾西部では9～15℃で経過した。焼津では平年並～やや高め、伊東では平年並～やや低め、その他の測点では平年並であった。

【竿釣近海カツオ】

3月の県内主要5港（沼津、清水、焼津、小川、御前崎）における近海カツオの水揚量は731トンで、豊漁であった前年同期の46%であった。魚価は467円/kgで、前年同期を大きく上回った。

3月の漁況はおおむね以下のとおり推移した。

上旬：小笠原諸島南西～南沖で、特大、大、中、小カツオを漁獲した。

中、下旬：漁場が小笠原諸島周辺海域まで北上し、特特大、特大カツオ主体に漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要5港)

期 間	水揚量 (トン)	水揚 隻数	水揚量 / 隻 (トン)	平均単価 (円 / kg)
16年3月上旬	304	16	19.0	462
中旬	229	19	12.1	460
下旬	198	30	6.6	483
16年 3月計	731	65	11.2	467
15年 3月計	1,591	67	23.7	220
14年 3月計	923	55	16.8	363

【定置網】

平成 16 年 3 月、伊豆半島東岸大型定置網 8 か統（伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津）における水揚量は 182 トンであった。1 漁場当たり水揚量 22.8 トンは、前年 56.9 トンの 40%、平年値（昭和 57～平成 15 年平均値）45.6 トンの 50% であった。

魚種別にみると、カタクチイワシ 48.9 トン（前年の 31%、平年の 79%） マアジ 46.4 トン（前年の 24%、平年の 45%） スルメイカ 40.1 トン（前年の 88%、平年の 2.0 倍） プリ 16.1 トン（前年の 89%、平年の 99%） サンマ 7.1 トン（前年の 3.2 倍、平年の 2.3 倍）の順に多かった。

プリは尾叉長の中心 72～78cm の銘柄ぶりが川奈を中心に 2,053 本入網した。川奈では 3 月 3～5 日にかけて 1,615 本入網し、これは銘柄ぶり全漁獲量の約 80% であった。カタクチイワシは北川及び赤石を中心に入網し、被鱗体長の中心は 11.5～12.5cm であった。マアジは川奈を中心に入網し、尾叉長のモードは 19～20cm であった。特に川奈では 3 月 31 日に 29 トンまとまって入網した。スルメイカは古網を中心に入網し、外套背長の中心は 21～24cm であった。サンマは川奈、北川及び赤石を中心に入網し、肉体長は 21cm 及び 27cm にモードがみられた。

2004 年 3 月

定地水温の旬平均値 ()

(下段は偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上 旬	12.5	13.9	13.4	15.2	13.4	13.7	9.9
	-1.0	-0.2	-0.3	0.8	-0.8	0.2	-1.9
中 旬	13.3	14.3	14.4	15.5	15.3	14.9	13.3
	-0.5	-0.0	0.5	0.7	0.5	1.1	0.8
下 旬	14.6	15.0	15.2	16.2	15.3	14.6	13.0
	0.5	0.5	0.9	1.0	-0.0	0.3	-0.2
月平均	13.5	14.4	14.3	15.7	14.6	14.4	12.1
	-0.3	0.1	0.3	0.9	-0.2	0.5	-0.4

漁場別水揚量は、マアジとブリの漁獲が多かった川奈（60.1 トン）、カタクチイワシの漁獲が多かった北川（38.9 トン）、カタクチイワシとスルメイカの漁獲が多かった赤石（23.6 トン）の順であった。

[サバたもすくい棒受網]

小川港にはたもすくい、棒受網によってマサバが1.3 トン、ゴマサバが884 トン水揚された。漁場は三宅島近海を中心に下旬には高瀬でも形成され、マサバでは尾叉長33~35cm、ゴマサバでは尾叉長29~31cmの大きさものが主に漁獲された。1kg当たりの平均単価はマサバでは235円、ゴマサバでは55円であった。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1隻当り (トン)	漁 場
平成16年 上旬	127	2	7	18.1	三宅
3月 中旬	290	4	11	26.4	三宅
下旬	467	5	24	19.4	三宅、高瀬
計	884	11	42	21.0	- - - - -
平成 15 年 3 月	1,035	12	69	15.0	三宅、三本
平成 14 年 3 月	664	9	36	18.4	三宅、三本

[サクラエビ船曳網]

平成 16 年春漁は、3月26日夜が初漁となった。3月は2日間出漁し、初日は漁場探索、翌日は田子の浦沖が主な漁場となった。

水揚量は2日間で78 トンと、前年度を上回った。漁獲されたサクラエビは、36mmにモードを持つ当歳エビを主体としながらも、43mmにモードを持つ1歳エビの割合も多かった。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	1日1か統当り (kg)	漁 場
平成 16 年 3 月 上旬	-	-	-	-
中旬	-	-	-	-
下旬	78	2	平均 648	漁場探索、田子の浦沖
平成 16 年 3 月 計	78	2	平均 648	-
平成 15 年 3 月 計	47	1	平均 779	漁場探索
平成 14 年 3 月 計	61	1	平均 1,022	漁場探索

[まき網]

小川港では、マイワシは6.7 トン水揚され、平年同期（過去5か年平均：66.4 トン）の10%と低調であった。カタクチイワシは水揚されなかった。

沼津港では、マイワシは0.8 トン水揚され、平年同期（54.5 トン）を大きく下回った。カタクチイワシは水揚されなかった。

静浦港では、マイワシは0.3 トン水揚され、平年同期（0.7 トン）の48%と低調であった。カタクチイワシは1.0 トン水揚された。過去5か年において、3月にカタクチイワシは水揚されていない。伊東港では、マイワシ、カタクチイワシともに水揚されなかった。

[シラス船曳網]

平成 16 年シラス漁期は3月21日に初漁を迎えた。1日1か統当りの水揚量は、駿河湾で67kg、遠州灘で128kgだった。主要6港平均では104kgと前年同期（151kg）の68%、平年同期（過去5か年平均：180kg）の58%であった。3月の総水揚量は23.1 トンと、前年同期（22.9 トン）の101%、平年同期（94.3 トン）の24%に当り、前年並みで平年を下回った。平均単価は902円/kgと平年同期（718円/kg）を上回った。解禁直後の静岡では、大型のウルメシラスが水揚量の7割以上を占めていたが、その後小型のカタクチシラスが中心を占めるようになった。

シラス水揚量（主要6港）

漁 港	水揚量 (トン)	日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統/日)	平均単価 (円/kg)
新 居	1.7	3	21	81	563
舞 阪	6.8	3	31	218	895
福 田	3.2	1	25	126	730
御前崎	5.2	5	56	92	932
吉 田	0.0	1	2	5	1,660
静 岡	6.0	4	88	68	1,111
平成 16 年 3 月 計	23.1	-	223	(平均) 104	(平均) 902
平成 15 年 3 月 計	22.9	-	151	151	530
平成 14 年 3 月 計	3.8	-	71	54	873

[調査船の動向]

- 富 士 丸
3月29日 中間検査及びペンドック工事終了により焼津港に回航(1日間)
- 駿 河 丸
3月1~2日 地先定線観測（駿河湾・遠州灘・伊豆）(2日間)
- 3月3~4日 駿河湾内にてサクラエビ IKMT 調査(2日間)
- 3月8日 定期検査及びペンドック工事のため東海造船に回航(1日間)
- 3月30日 定期検査及びペンドック工事終了により小川港に回航(1日間)